

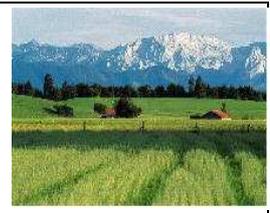


主要な農作物の生育情報

平成24年度 第6号

(平成24年9月14日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

今年の出穂期は中通り、浜通りではほぼ平年並み、会津地方では1～3日早い状況となり、穂揃いも良好な状況となりました。

早生品種や移植時期の早かった中生品種では9月上旬までに成熟期を迎えているほか、農業総合センターにおけるひとめぼれや天のつぶを見ると9月中旬までには成熟期を迎え刈取適期となり、その後9月下旬にはコシヒカリが成熟期となり、刈取適期を迎える見込みです(表-1)。

なお、刈取適期の予想は出穂後の積算気温を基に、一般にひとめぼれで950℃、コシヒカリで1000～1050℃到達日が刈取適期の目安となりますが、今年の傾向として青靱が目立つとの報告もありますので、最終的には籾の黄化状況により判断するようにしてください。

表1：水稲主要品種の出穂期と成熟期予想(農業総合センター) (9月12日現在)

場 所	品 種	田植日 (月日)	出穂期			成熟期(予想)		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)
本 部	コシヒカリ	5.15	8.12	8.13	-1	*2 (9.26)	9.26	(0)
	ひとめぼれ	5.15	8.04	8.05	-1	*1 (9.14)	9.14	(0)
	天のつぶ	5.15	8.06	8.09 *	-3 *	*1 (9.16)	9.15 *	(+1) *
浜地域 研究所	コシヒカリ	5.10	8.12	8.12	0	*2 (9.26)	9.29	(-3)
	ひとめぼれ	5.10	8.03	8.04	+1	*1 (9.13)	9.15	(-2)
会津地域 研究所	コシヒカリ	5.21	8.08	8.10	-2	*2 (9.19)	9.22	(-3)
	ひとめぼれ	5.21	8.03	8.04	-1	9.11	9.14	-3

農業総合センター作柄解析試験。(*) 天のつぶは前年値との比較。

成熟期(予想)について

(*1) 籾の黄化状況からみた成熟期予想日。

(*2) は出穂後の積算気温到達日による予想日。

コシヒカリ：本部では1050℃到達日。会津地域は1000℃到達日。

【野 菜】

1 夏秋きゅうり

県内各地の露地栽培では、4月は種のもの全般に草勢が低下し、尻細果や曲がり果の発生が多くなっており、また、かん水施設のないほ場では、平年より早く栽培を終了している場合が多くあります。5月は種、6月は種の中は、草勢低下はあるものの順調な生育です。病害虫では褐斑病、うどんこ病、アザミウマ類、ハダニ類の発生が見られます。

2 夏秋トマト

県南地方では、現在10段果房収穫中です。生育は平年並みですが、上段に花落ちが見られます。会津地方の高冷地では、8段果房を収穫中です。生育は平年並みですが、草勢が低下し裂果や上段に花落ちが見られます。病害虫ではうどんこ病、オオタバコガの発生が見られます。

南会津地方では、現在6段果房収穫中です。生育は平年並みですが、裂果の発生が見られます。病害虫では葉かび病とすすかび病、オオタバコガの発生が見られます。

3 サヤインゲン

県中地方では、現在4月は種のは収穫をほぼ終了し、6～7月は種のを収穫中です。高温・乾燥の影響で落花や曲がり果等の発生が多く見られます。

害虫では、アザミウマ類の発生が多く見られます。

4 夏秋ピーマン

安達地方・田村地方の露地栽培は、高温・乾燥により草勢が低下し、尻腐果や日焼け果の発生が多く見られます。現在、尻腐果や日焼け果の発生は減少しています。

いずれの地方とも害虫で、オオタバコガの発生が見られます。

5 夏秋ナス

安達地方・県中地方の露地栽培は、高温・乾燥によりかん水のできないほ場で草勢が低下し、変形果やつやなし果等の発生が見られます。現在、変形果やつやなし果等の発生は減少しています。

病害虫ではうどんこ病、ハダニ類の発生が見られます。

6 アスパラガス

会津地方、南会津地方とも現在夏秋どりの収穫中です。高温・乾燥により生育が抑制気味で、穂先の開きや曲がり等の発生が見られます。現在、穂先の開きや曲がり等の発生は減少しています。

害虫ではアザミウマ類、ヨトウムシ類の発生が見られます。

【果 樹】

1 モ モ

果実肥大（果樹研究所、9月1日現在）を暦日で比較すると、「ゆうぞら」は縦径が平年比97%、側径が平年比94%と平年よりやや小さい状況です。果実の生育日数による比較では、平年よりやや大きい状況です。

2 ナ シ

果実肥大（果樹研究所、9月1日現在）を暦日で比較すると、「豊水」は縦径が平年比98%、横径が平年比98%と平年よりやや小さい状況です。果実の生育日数による比較では、平年より大きい状況です。

また、「幸水」の収穫始めは8月28日で平年より1日遅れました。糖度は平年より高い状況でした。

3 リンゴ

果実肥大（果樹研究所、9月1日現在）を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が平年比104%、横径が平年比104%と平年よりやや大きい状況です。また、果実の生育日数による比較では、平年より大きい状況です。

【花 き】

1 キク類

露地栽培の小ギクや輪ギクでは、高温・乾燥の影響で一部下葉枯れ症状が見られますが、彼岸需要期には順調に出荷される見込みです。

害虫ではハダニ類の発生が見られます。

2 リンドウ

彼岸咲き品種の生育は、草丈や節数とも平年並みとなっており、需要期には順調に出荷される見

込みです。

害虫ではハダニ類やアザミウマ類の発生が見られます。

3 シュッコンカスミソウ

高冷地では、現在7月定植ものの出荷が始まっています。高温の影響で生育が前進しているため、10月出荷の数量は減少する見込みです。

害虫では、ハダニ類の発生が見られます。

4 トルコギキョウ

各地域ともに抑制栽培の出荷が始まっています。高温による早期着蕾が見られ、草丈はやや短めになっています。

害虫では、アザミウマ類の発生が見られます。

5 カラー

現在、7月上旬定植のものが出荷されています。高温の影響により、草丈は例年よりやや短く、開花も前進傾向にあります。

害虫については、アザミウマ類の発生が見られます。

【飼料作物】

1 牧草

県内の牧草は、現在3番草の生育期となっています。

地域によっては、高温・少雨の影響で草丈が低い地域や、夏枯れ等が見られます。

(昨年に除染(草地更新)を行った牧草地)。

なお、現在県内の多くの地域で除染作業が本格的に実施されています。

2 飼料用とうもろこし

天候にも恵まれ、順調に生育していますが、県北地域を中心に高温・少雨の影響により収穫期が早まることが予想されます。これから収穫する中晩生種では、生育状況をよく観察し適期(黄熟期)に刈り取りを行ってください。

なお、収穫調製にあたっては、土砂を混入しないなど放射性物質の影響に注意を払った収穫調製を行ってください。

3 稲WCS

天候にも恵まれ、順調に生育しています。

平年並みの8月中旬より収穫が開始され、これから本格的な収穫期を迎えます。

なお、収穫調製にあたっては、土砂を混入しないなど放射性物質の影響に注意を払った収穫調製を行ってください。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報(ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>)等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224